

(活動報告書様式)

団体名	やまがた子ども観光大使実行委員会		
事業名	やまがた子ども観光大使2017		
助成事業区分	協働助成事業(一般型)【自由提案部門】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	948,791円
		うち助成金額	410,000円



■事業目的

山形県内には各地域で昔から伝わる伝統芸能や自然、食文化等がある。これは、先人から脈々と受け継がれてきた地域の宝である。今後とも各地域に伝わる文化や人々の生活を継承するため次の事業を行った。

- ①未来を担う県内の小学生に対して、チラシを配布した一般募集。
- ②子どもたちが、各地域の方々と一緒に体験する活動の場を提供し、郷土愛の醸成を図ること。
- ③県の事業である「未来に伝える山形の宝」登録箇所を活動場所とし、登録団体の広報。

■実施内容

①体験講座の開催

6月～10月の間に、

12会場にて、各地域の体験を実施。そのうち、4か所が「未来に伝える山形の宝」登録団体。庄内2地域、最上2地域、村山6地域、置賜2地域とし、県内全域を会場とした。

②認定証の授与

体験講座に3回以上参加した小学生に対し、山形子ども観光大使として認定し、吉村美栄子県知事名で認定証を交付。体験により実感した山形県の良さを認定式参加者に対して小学生が発表した。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

・どの体験講座においても申込多数となり、キャンセル待ちが出た。

・12会場において、県内各地から93名の参加者が集まり、そのうち45名が認定証を授与された。

・各会場のアンケートでは、9割以上が次回も参加したいという回答があったほか、子どもの活動を通して保護者同士が仲良くなり、観光大使を通して親同士のつながりも生まれた。

・「未来に伝える山形の宝」登録箇所では、新たな体験活動を考案でき、今後の観光資源の1つとして組み込むことが出来そうとの声を頂いた。

②今後の展望

体験講座を通して、参加した保護者の意識が高まったので、保護者・地域の方々と連携して、子どもに山形の魅力を育てていく講座の開発をしていきたい。